

鳩だより 《敬称略》

祝 洗 礼

11月27日(日)
マルガリータ 中 絵理子
聖母マリア 西田 優子
テレジア 西田 紗和
ソフィア 西田 心和
呉信愛教会

12月25日(日)
エリザベス 崔 裕子
マリヤ 杉原 比佐子
神戸聖ミカエル教会
グレイス 益田 純伶
ジョイス 益田 葵
明石聖マリア・マグダレン教会
1月5日(木)
ルカ 西條 史朗
徳島インマヌエル教会
12月25日(日)
モニカ 白石 梨里子
徳山聖マリア教会

祝 堅 信

11月20日(日)
モニカ 永野 園子
神戸聖ヨハネ教会
11月27日(日)
マルガリータ 中 絵理子
聖母マリア 西田 優子
呉信愛教会
12月25日(日)
ペテロ 石原 太史
ペテロ 杉原 一也
エリザベス 崔 裕子
マリヤ 杉原 比佐子
神戸聖ミカエル教会

ご 聖 婚

1月7日(金)
福岡聖パウロ教会にて
石橋 賢人
クレア 瀬山 思美
(米子聖ニコラス教会)

ご 逝 去

11月11日(金)
マカレット 武田 喜代子
神戸昇天教会
11月13日(日)
フランスカ 野間 幸恵
姫路顕栄教会
11月26日(土)
エステル 国東 文子
神戸聖ミカエル教会
12月5日(月)
ヨセフ 高山 勇
神戸昇天教会
12月6日(火)
ルツ 小山 富美
姫路顕栄教会

教 籍 移 動

12月6日(火)
マリア 伊藤 章
神戸聖ヨハネ教会
12月19日(月)
マリア 八代 トシ子
神戸聖ミカエル教会
10月27日(木)
マリア 舟茂 恵子
京都教区聖光教会より
松山聖アンデレ教会へ
1月1日(日)
サムエル 竹内 克治
神戸昇天教会から
神戸聖ヨハネ教会へ

神 戸 伝 道 区

伝道区婦人会降臨節静想日
礼拝を姫路で開催！
去る12月2日(金)に静想日
礼拝が久しぶりに姫路顕栄教会
にて開催され、伝道区内諸教会
から約30名のご婦人が参加され

2月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

Table with 2 columns: Date/Time, Location/Officiant. Includes details for the 2017 Feb 9th memorial service at St. Michael's Cathedral.

3月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

Table with 2 columns: Date/Time, Location/Officiant. Includes details for the 2017 Mar 2nd memorial service at St. Michael's Cathedral.

お詫びと訂正
神のおとずれ12月号巻頭
言で、中村豊主教を「松蔭
学院学院長」と記載しまし
たが、正しくは「松蔭女子



た。聖餐式を守り、午前と午後
の2回に渡って講話を聞き静想
しながら神に心を向けることが
出来る感謝致します。

Advertisement for a thanksgiving service for Bishop Nakamura Tomoyuki, organized by Hiroshima Revival Church. Includes date, time, location, and fee.

学院理事長」です。
現在の松蔭女子学院院長
は、郡司隆男氏です。お詫
びし、訂正いたします。

日本聖公会 神戸教区報
神のおとずれ

Publication information for the 2017 Jan-Feb issue, including contact details for the office and printer.

この道に従う者

司祭 ヨハネ 吉田 雅人



育にあたればよいのか、いろ
いろ考えさせられることがあり
ました。そしてそのヒントにな
ったのは、ウイリアムス神学館
の建学の精神である、「道を伝
えて己を伝えず」という言葉で
した。

しかしこの「道」とは、一体何
を意味しているのでしょうか。
「道とは？」
使徒言行録一・二六には「ア
ンテオキアで、弟子たちが初
めてキリスト者と呼ばれるよう
になった」と記されています。

二〇〇二年にウイリアムス神
学館に向向し、教役者養成の働
きに携わらせていただいた、は
や一四年がたちました。この間
に、各教区から送られてきた神
学生たちが、神学館での学びを
終えて、各々の場で牧会者とし
て神様と人々とに仕えておられ
ます。

この言葉を、日本聖公会初代
主教C・M・ウイリアムス師父
を記念して、米国バージニア州
リッチモンドの墓地に建てられ
た記念碑に刻まれている言葉で
す。この碑文をしたためた山縣
雄杜三司祭は、主教が自身の
人柄・生活のすべてを通して宣
教し、ご自分の思いや行いを誇
らず非常に謙虚であった、その
生き方を「道を伝えて己を伝え
ず」という言葉で表しました。

このイエス様の教えを一言で
表現するのは難しいのですが、
主ご自身がマタイ二二・三七
四〇で「心を尽くし、精神を
尽くし、思いを尽くして、あな

たの神である主を愛しなさい。』
これが最も重要な第一の掟であ
る。第二も、これと同じように
重要である。『隣人を自分のよ
うに愛しなさい。』律法全体と
預言者は、この二つの掟に基づ
いている」と教えられました。

の生き方を想い起こした時だと
思います。ルカ二四・一三〜三
五のクレオパと復活のイエス様
との出会いの物語では、旅の途
上で聞いた言葉だけでは分から
なかつたけれども、イエス様が
パンを裂いてお渡しになった
時、即ち十字架にご自身を献げ
られたイエス様を想起した時、
「イエスだと分かった」という
のです。もちろんイエス様は十
字架上に全てを献げられたので
すが、弱い私たちには「他者半
分、自分半分で十分だよ」と言
ってくださいます。

（ウイリアムス神学館館長）

神戸教区第84定期教区会

教区主教開会演説

主教 アンデレ 中村 豊

神戸教区主教に着座して12年になりますが、今教区会で議長の仕事が最後となり、来年(2017年)3月に退任いたします。



式が神戸聖ミカエル大聖堂で執り行われました。4月に中規模の人事異動を実施しました。また、神戸教区宣教140周年に当たる今年、周年行事が盛大に行われました。11月26日(土)には、徳山聖マリア教会会館・牧師館落成式が挙行されます。

財政と人材

私が2004年に教区主教に就任した当時は司祭22名、執事1名計23名、現在受聖餐者1600名という陣容でしたが、その後退職者が増え、2006年には司祭18名、執事1名、計19名にまで減少しました。山陰伝道区を例にしますと、6教会で牧師1名という状

態に陥ってしまいました。従って、教区・教会は、教役者俸給に関わる財政問題も存在しませんでした。その後、教区の皆様の篤い祈りに聖職が与えられ、聖職按手式を毎年挙行し、現在、聖職と聖職候補生・神学生計28名の人材が確保されました。おかげをもちました。今年4月の人事異動で、各教会に必要とされる牧師派遣はほぼ完了しました。

神戸教区宣教140周年記念礼拝説教で述べましたように、1970年初頭から、神戸教区は新たな時代を迎えました。教区には27教会が存在しますが、そのうち、24教会は外国宣教師の資金によって土地が購入され、教会が建てられました。しかし、外国の宣教師や教会に依存する状態から、牧師俸給や教会の維持・管理・宣教に関わる費用を信徒の献金によって賄う、自給教会への体質改善に向けて歩みだしたのです。

同時に、教区分担金を用いて自給困難な教会に財政的支援を実施するという仕組みが次第に確立されました。自給教会は、自分たちだけのことを考えればよいという姿勢から、互いに助け合い、協力しあうというのが、教会本来の姿であることに目覚めたのです。

ここ10年、70年代に教会を物心両面で支えてこられた多くの信徒が天に召され、現在受聖餐者も1500名を割り込みましたが、これに反比例して、教役者が増加しました。当然のことながら、教会財政が逼迫し、教区分担金に反映される牧師俸給をどのようにして賄うかが大きな課題となつて私たちの前に立ちました。一方、12年前の教区諸役員の数(延人数)は90名でした。その後、委員会の新設や教区事務所改変などにより、現在は、144名がボランティアとして委員会や教区事務所の一員として奉仕してくださつ

ており、教区行事においては、企画立案から運営まで、円滑に事が運ばれていることを感謝しております。貧しい状態であっても教区・教会は様々な活動を実施するに際して、常に人材確保を念頭に置くことが肝要であり、これによって、キリストの枝としての繋がりが深まり、教区・教会に横たわる様々な問題が次第に解決されることを期待しております。

社会と共に在る 小さな群れ

ルカ福音書7章では、獄中から洗礼者ヨハネが使者を遣わして、来るべきかたはあなたでしょうか、それともほかの人を待たなければなりませんか、とイエスの答えは「目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を煩っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、貧しい人は福音を告げ知らさ

教会建築シリーズ⑤ 徳山聖マリア教会編



11月26日(土) 天候にも恵まれ、中村主教様に徳山聖マリア教会礼拝堂の増築と新会館・教職舎の祝福式をして頂きました。この素晴らしい建物を設計してくださいました村越千幸子先生、また立派に施工してくださった長崎建設の社長様をはじめ工事関係者の皆様におかげさまで事故もなく気持ちのよい建物が完成致しました。

小さな地方教会でこのような大きな挑戦ができたのは、まさに神様のお導きであり、教区の聖職・信徒の方々、主の交わりのうちにある日本聖公会の皆様のご支援の賜物です。建築開始当初は、本当に実現できるのか、募金は集まるのか、不安な毎日を過ごしましたが、皆様の励ましの募金と共に添えられた応援メッセージにより、幾度となく励まされ前に進む勇氣を持ち続けられました。



(新会館でくす玉割り)

今後、徳山聖マリア教会では地域の方々をお招きし、共にささげる礼拝や諸行事などを増やして交わりの場所としてゆきたいです。子どもや高齢者にも使い

やすい設計となつていますので、徳山めぐみ幼稚園と連携して子育て世代に利用していただき、また高齢者やリハビリ中の方々にも憩いの場としていただきたいと思っております。

神戸教区では西の端にある少し遠い場所にあります。が、ぜひ礼拝や行事に訪れて頂ければ嬉しく思います。どうか、これも皆様の祈り内に覚えていただければ幸いです。

(徳山聖マリア教会 建築実行委員長 田口安雄)

宣教140周年記念オルガン奉献3周年記念コンサート

ルッ 原田 里香子

11月19日(土)午後3時、宣教140周年記念・オルガン奉献3周年記念・松原晴美氏(桃山学院大学オルガニスト)演奏によるコンサートが神戸聖ミカエル大聖堂で行われ、約100人が集まりました。演奏に先立ち、神戸聖ミカエル大聖堂オルガニスト・伊藤純子姉による奏楽で聖歌を歌い、

中村教区主教の司式でオルガン奉献感謝の祈りを皆で奉げました。

コンサート1曲目は、フランス人作曲家ラングレルの『神への感謝の祈りの歌「テ・デウム」』、「宣教140周年とオルガン奉献3周年のお祝い、感謝の気持ち」という松原氏の解説の後、大胆な和音が聖堂に鳴り響き、観客を圧倒しました。その後ブラームス、バッハと続き、コンサート後半では、アメリカ在住のオルガニスト、松原氏のご友人でもある渡邊清人氏作曲の聖歌15番「来る朝ごと」と323番「この世はみな神の世界」のアレンジ曲が演奏されました。子ども聖歌として知られる聖歌15番がジャズに変貌し、オルガンで聞くそのハーモニーとリズムに新鮮な驚きを覚えました。2016年は、宣教140周年として様々な行事が行われましたが、最後を締めくくる行事として、このコンサートが開催され、クリスマスを祝う3曲で幕を閉じました。パロックから現代、ドイツ、フランス、

イギリスから日本の作曲家まで、多様な楽曲が演奏されましたが、曲の合間の解説から溢れ出る松原氏の神への思いが根底に流れるものでした。心配した天候が穏やかだったこともあり、オルガンの調子も大変よく、演奏終了後、多くの方から評価を頂きました。



(演奏された松原晴美氏)

ロンドン生まれのオルガンは3年を経て、着実に神戸に根付いてきました。その音色を聴く私たちは神の平和を紡ぐ器として、益々力を得たいと願います。

当日、オルガン維持のため自由献金として6万36円が奉げられました。ご協力下さった方々にこの紙面を借りて御礼申し上げます。

(ハイパオルガン委員会 委員長)

第84定期教区会及び 第85臨時教区会報告

去る11月23日(水)、神戸教区第84定期教区会及び第85臨時教区会(主教選挙)が神戸聖ミカエル大聖堂にて開催されました。午前7時から聖餐式をもって始まりました。礼拝後、地下ホールに移動して朝食をいただいた後、教役者議員および信徒代議員の調査確認が行われ今教区会の成立が宣言されました。

そして、番外議員の推薦や新議員の歓迎が行われ、中村教区主教が開会演説を行いました。

その後、各委員会からの報告が行われ全ての報告は承認されました。また今教区会には主に教区一般会計及び特別会計の決算と予算、建築などの基本財産処分、教区規則の変更などに関わる15の議案が提出されましたが審議の結果、全ての議案は承認されました。



その後、午後2時から会場を大聖堂に移して主教選挙が行われ、27回に渡り投票が行われましたが当選者は得られませんでした。第二回目の主教選挙は3月4日(土)に行われる予定です。

二〇一七年常置委員

- 【聖職】司祭 上原 信幸
- 司祭 小林 尚明
- 司祭 小南 晃
- 【信徒】松田 嘉彦
- 大東 正人
- 大東 康人



堅信50年顕彰者

- 【神戸聖ミカエル教会】ヨハネ 岸上 龍平 兄
- バルトロマイ 金子 謙治 兄
- アンデレ 香川 正美 兄
- マリアカタ 小松原照代 姉
- 上田 章子 姉
- プリスカ 堀田 紀子 姉
- 【神戸聖ヨハネ教会】リベカ 蔭山 陽子 姉

【明石聖マリア・マグダレン教会】

- ヤコブ 伊藤 四朗 兄
- ナオミ 平山 久美子 姉
- ペテロ 石本 弘 兄
- キャサリン 石本 喜美子 姉

【高松聖ヤコブ教会】

- テモテ 小川 義郎 兄
- 【高知聖パウロ教会】アグネス 土居 節子 姉
- クララ 三宮 茂代 姉
- フランセス 沢村 紀子 姉
- グレース 松本 恵子 姉
- マーガレット 浦部 暁美 姉
- ローズ 松本 貴美子 姉
- マリア 植田 晴江 姉

【姫路顕栄教会】

- エリザベツ 山中 優子 姉
- セシリア 古崎 恵子 姉

【徳島インマヌエル教会】

- アグネス 立木 恵美子 姉
- フェイス 野本 陽一 兄

【倉敷聖 クリストファー教会】

- ローレンス 山本 耕一郎 兄

【鳴門聖パウロ教会】

- エリザベツ 金森 澄子 姉

【松江基督教会】

- リチャード 古野 毅 兄
- ユニケ 石野 公子 姉

【米子聖ニコラス教会】

- アンジェラ 仲田 豊実 姉

【大洲聖公会】

- スザンナ 村上喜美子 姉
- ヨハンナ 村上 廣子 姉



「これによって、被災した教会・会館の改修や新築工事が実施されましたが、教会は地域社会のために存在していることを身をもって証明したのです。神戸教区はこの大きな恵みに感謝しつつ、東日本大震災として九州地震には多数のボランティアを派遣することができました。

宣教140周年にあたり、「小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。(ルカによる福音書12章32節)」の聖句が選ばれました。小さな群れという意味は、僅かな羊のことです。この羊は小さいことを恐れる。弱いことを恐れる。貧しいことを恐れているのです。イエスは、恐れというものが人間をどんなに損なってしまうか。人間をどんなに駄目にしてしまうかをよくご存知でした。

これによって、被災した教会・会館の改修や新築工事が実施されましたが、教会は地域社会のために存在していることを身をもって証明したのです。神戸教区はこの大きな恵みに感謝しつつ、東日本大震災として九州地震には多数のボランティアを派遣することができました。

宣教140周年にあたり、「小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。(ルカによる福音書12章32節)」の聖句が選ばれました。小さな群れという意味は、僅かな羊のことです。この羊は小さいことを恐れる。弱いことを恐れる。貧しいことを恐れているのです。イエスは、恐れというものが人間をどんなに損なってしまうか。人間をどんなに駄目にしてしまうかをよくご存知でした。

この目で確かめることができる羊飼いは小さな群れと共に在り、群れを守り、必要なものを提供し、豊かな牧草地に必ず導いてくださるのです。

神戸教区は宣教150年に向けて新たな歩みを始めておりますが、各教会が掲げた宣教のビジョンを「神の秘められた計画(1コリント4:1)」として捕らえ、アクションプランの進捗状況について、教会の管理者としての牧師は、少なくとも、受聖餐者総会時に、1年間の宣教活動評価と、今後の方針や具体的な計画に

ついて信徒の方々に表明し、協力しながら宣教活動を促進することが必要です。

在任中の12年間、教区の皆様のご協力を深く感謝し、新主教のもと、宣教150年に向けて新たな一歩を踏み出していきたいと思っております。



神戸教区第85臨時教区会

教区主教開会演説

主教 アンデレ 中村 豊

ただいまより臨時教区会を開会いたしますが、次期神戸教区主教が円滑に選出されることを心から願っております。選挙にあたり、「どうか常に主の公会を守り、偽りの使徒を防ぎ、忠実な牧者によって治め導かれるようにしてください。」と祈っています。

す。忠実な牧者とは、キリストの群れ全体に忠実であり、教会や人々に忠実に仕える司祭や主教が教区主教として召しだされるのです。

教区会議員・代議員共に、様々な思いを抱いて議場に臨むことになりましたが、虚心坦懐に投票していただきたいと願うものです。